

年度	R3
シートNo.	32
シート名	環境政策(率先事業)

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち
	施策目的 (上位目的)	01 良好な環境のなかで、快適にくらすことができるまちになる
	施策の方向	I-01 市民が環境の現状を認識し、環境保全意識の高揚を図るため、環境問題の啓発や環境学習の機会を提供し、環境教育を推進します。
		I-01 市民や事業者などが自ら進んで快適な環境づくりに取り組むことを支援するとともに、協働して環境保全活動を推進します。
I-01 低炭素社会の構築をめざし、省エネ活動の推進や再生可能エネルギーなどを普及させるとともに、環境負荷の軽減に努めます。		
I-01 地球温暖化対策や暑さ対策に重要な役割を果たす緑の普及や啓発に努めます。		

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規 4.0	会計 年度 任用 0.0	再任 用 0.0
	すべてのシートの合算	16.0	0.0	0.0

このシートの行政活動(手段)を遂行するための事業予算額 (R3年度予算額)				
款	項	目	事業名	予算額
4	2	1	地域環境基金積立金 事業	134 千円
4	2	2	地球温暖化対策 事業	4,268 千円
4	2	2	環境管理 事業	5,260 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				9,662 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
市民が地球に優しい暮らしを実践している	地球に優しい暮らしを実践している人の割合(%)	92.3	89.2	93.6	93.7	-	↑	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	良好で快適な環境を保全・創造するための計画を作成し、運用する	地球に優しい暮らしを実践している人の割合(%)	92.3	89.2	93.6	93.7	-	↑	○	コロナの影響あり
	0101 環境基本計画の策定・運用	策定・運用	運用	運用	運用	策定・運用	運用	→	○	
	0102 環境審議会の運営	開催回数	1	3	2	6	2	↑	○	
	0103 地球温暖化防止活動実行計画の進行管理	温室効果ガスの削減実績(平成26年度比 %)	6.9	-1.4	3.9	3.9	-	↓	×	R3.10月ごろ確定予定
	0104 館林市環境マネジメントシステム(EMS)に基づく環境基本計画の進行管理	環境目的・目標の達成率(%)	76.9	77.1	79.5	75.1	-	↑	×	R3.7月確定予定
	0105 暑さ対策本部の運営	開催回数	2	2	2	2	2	→	○	
	0106 暑さ対策市民会議の運営	開催回数	2	2	2	2	中止	→	○	コロナの影響あり
事業名	地球温暖化対策事業・環境基本計画率先事業	年度別決算・予算額(千円)	17,810	15,813	11,736	24,287	7,206	9,528		
02	市民との協働により、温室効果ガスの排出を減らし、低炭素なまちをつくる	省エネで涼しく暮らす工夫をしている市民の割合(%)	91.3	90.2	89.1	93.6	-	↑	○	コロナの影響あり
	0201 太陽光発電システムの設置支援	補助金交付件数	143	109						H30より事業廃止
	0202 市有施設の省エネルギー(省エネルギー法)	エネルギー消費原単位削減実績(前年度比 %)	3.2	-15.2	3.5	-9.1	-	↓	○	R3.8月確定予定
	0203 市有施設の省エネルギー(群馬県温暖化防止条例)	温室効果ガス排出実績(t)	5,041	3,547	3,562	3,335	-	↓	○	R3.8月確定予定
	0204 エネルギー(温暖化対策)勉強会の開催	開催回数	3	3	2	4	2	↑	×	コロナの影響あり
事業名	地球温暖化対策事業・環境基本計画率先事業	年度別決算・予算額(千円)	17,810	15,813	11,736	24,287	7,206	9,528		
03	環境にやさしいライフスタイルを広める	地球に優しい暮らしを実践している人の割合(%)	92.3	89.2	93.6	93.7	-	↑	○	コロナの影響あり
	0301 緑のカーテンの普及	緑のカーテン教室参加人数	256	255	350	405	中止	↑	○	コロナの影響あり
	030101 緑のカーテンシンボル事業									
	030102 緑のカーテン教室									
	0302 ミスト発生装置による熱中症の抑制	貸出日数	579	472	283	366	726	↑	○	
	0303 「館林市環境賞」による顕彰	受賞者数	5	2	6	4	4	→	×	
	0304 環境標語コンクールによる啓発	応募者数	125	125	125	125	中止	→	○	コロナの影響あり
	0305 学校版環境マネジメントシステム(学校エコライフ活動)の策定・運用	策定・運用	運用	運用	運用	運用	運用	→	○	
	0306 環境啓発イベントの開催	開催回数	2	2	2	1	0	→	×	コロナの影響あり
0307 小中学校、団体、市民への環境学習支援	講座開催数	5	2	4	1	2	→	×	コロナの影響あり	
0308 雨水貯留槽モデル設置の維持	モデル設置数(累計)	11	11	11	11	10	→	×		
事業名	地球温暖化対策事業・環境基本計画率先事業	年度別決算・予算額(千円)	17,810	15,813	11,736	24,287	7,206	9,528		
04	市民が環境情報を手に入れることができる	エコシティの認知度(%)	71.3	57.1	64.1	-	-	↑	×	コロナの影響あり
	0401 「館林の環境」の発行	発行回数	1	1	1	1	1	→	○	
	0402 環境情報紙「エコシティ」の発行	発行回数	6	6	6	6	6	→	○	
	0403 たてばやしECO通信の発行	発行回数	4	4	4	0	5	↑	○	
	0404 記者発表、市公式ホームページ等への情報提供	課ホームページ更新頻度(回数/月)	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	↑	○	
事業名	-	年度別決算・予算額(千円)	-	-	-	-	-	-		
05	その他の事務									
	0501 地域環境基金の有効利用	有効利用	運用	運用	運用	運用	運用	↑	○	
	0502 国、県、両毛六市等の関係機関との情報交換	会議等への出席	出席	出席	出席	出席	出席	↑	○	コロナの影響あり
事業名	地域環境基金積立金・環境基本計画率先事業	年度別決算・予算額(千円)	9,963	9,208	9,662	14,443	8,841	5,394		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
市民に対し、環境問題に対する情報発信は継続して行ってきたが、令和2年度はコロナの影響があり、令和元年度と比較すると中止となった事業等も多く、情報発信力が弱まった。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
環境問題の解決には市民が当事者意識をもって、取組を継続して実施していくことが不可欠である。目的・指標に対し、市民がより一層的確に行動を行えるよう、情報提供の内容や事業・イベントに頼らない発信方法等も含めさらに検討・精査を行う。

年度	R3
シートNo.	33
シート名	環境保全(環境調査)

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち
	施策目的 (上位目的)	01 良好な環境のなかで、快適にくらすことができるまちになる
	施策の方向	I-01 河川や池沼の水質、大気、騒音・振動、悪臭、地盤沈下などの環境の状況を常に把握するとともに、事業所への調査や指導を行うことにより、公害の防止に努めます。

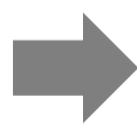
人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規 2.0	会計 年度 任用 0.0	再任 用 0.0
	すべてのシートの合算	16.0	0.0	0.0

このシートの行政活動(手段)を遂行するための事業予算額 (R3年度予算額)				
款	項	目	事業名	予算額
4	2	2	環境調査事業	4,804 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			合計	4,804 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備	考
		H28	H29	H30	R元	R2				
環境トラブルや苦情のない良好な生活環境が保たれている	公害・環境苦情件数	56	71	50	47	49	↓	○		

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備	考
01	環境トラブルの発生を防止し、解決する										
0101	「生活環境を保全する協定」の締結	締結企業数(累計)	32	32	32	32	32	↑	×		
0102	法令に基づく騒音・振動関係の届出受理	処理率(処理数/届出数)	100%(45件)	100%(83件)	100%(61件)	100%(70件)	100%(64件)	→	○		
0103	発生した環境トラブルを解決し、被害を軽減する	公害・環境苦情件数	56	71	50	47	49	↓	○		
	010301 公害・環境苦情の処理										
	010302 公害・環境関連事故の処理										
0104	騒音・振動測定	測定件数	8	10	13	11	10	→	○		
0105	自動車騒音常時監視業務	監視路線数	4	4	4	4	6	→	○		
0106	悪臭測定	測定件数	0	0	0	0	0	→	○		
0107	土砂条例による規制	許可件数	-	-	1	1	2	↑	○		
	事業名	環境調査事業	年度別決算・予算額(千円)	3,173	2,940	3,270	3,843	3,431	4,804		
02	飲用水の衛生を担保するため、水道法等に基づく適正な指導を実施する										R3より環境政策係より移管
0201	専用水道等への立入検査	立入検査施設数	8	6	9	0	1	→	×		
	020101 専用水道										
	020102 簡易専用水道										
	020103 小水道										
	事業名	環境調査事業	年度別決算・予算額(千円)	3,173	2,940	3,270	3,843	3,431	4,804		
03	放射線の状況を把握する	定期的な測定	年4回	年4回	年4回	年4回	年2回	→	×		R3より環境政策係より移管
0301	空間放射線量の測定	定期測定地点数	14	14	14	14	14	→	○		
	030101 市内全域14地点の測定		14	14	14	14	14	→	○		
	030102 モニタリングポスト										
0302	食品等に含まれる放射性物質検査の実施	測定率(検体数/希望数)	100%(128件)	100%(113件)	100%(69件)	100%(68件)	100%(64件)	→	○		
	030201 市民対象の放射性物質検査の実施										
	030202 学校給食食材等の放射性物質検査の実施										
	事業名	環境調査事業	年度別決算・予算額(千円)	3,173	2,940	3,270	3,843	3,431	4,804		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
「生活環境を保全する協定」については締結企業数に増減なし。公害・環境苦情件数(野焼き等)については毎年50件程度寄せられている。河川や池沼の水質、大気、騒音・振動、悪臭について、各法令に基づき調査・測定を実施している。悪臭は業者測定に至るまでの事案はなく、騒音・振動(自動車騒音も含む)は環境基準を満たしており、いずれも良好な環境となっている。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
河川や池沼の水質、大気、騒音・振動、悪臭及び地盤沈下など各種調査を行い、状況を把握するとともに群馬県や関係機関と連携し、公害の未然防止に努める。

年度	R3
シートNo.	34
シート名	環境保全(環境問題)

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち
	施策目的 (上位目的)	01 良好な環境のなかで、快適にくらすことができるまちになる
	施策の方向	I-01 市民が環境の現状を認識し、環境保全意識の高揚を図るため、環境問題の啓発や環境学習の機会を提供し、環境教育を推進します。 I-01 水に親しみ、ふれあえる地域の貴重な水辺環境、身近な野生生物や貴重動植物が多数見られる生物多様性に富んだ自然環境の保全と創出に努めます。 I-01 市民と連携して、環境美化、衛生向上、動植物の保護に努めます。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規 3.0	会計 年度 任用 0.0	再任 用 0.0
	すべてのシートの合算	16.0	0.0	0.0

このシートの行政活動(手段)を遂行するための事業予算額 (R3年度予算額)				
款	項	目	事業名	予算額
4	2	1	環境衛生事業	7,383 千円
4	2	1	環境保健委員運営事業	8,672 千円
4	2	1	鳥獣保護対策事業	1,152 千円
4	2	1	クビアカツヤカミキリ撲滅事業	8,808 千円
4	2	2	自然環境保全事業	1,865 千円
事業				千円
合計				27,880 千円

任 務 目 的	指 標	過去の実績					目 標	達 成	備 考
		H28	H29	H30	R元	R2			
良好な地域の環境衛生が保たれている	環境衛生要望事案処理率	100%(996件)	100%(956件)	100%(904件)	100%(848件)	100%(964件)	→	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指 標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目 標	達 成	備 考
01	地域環境衛生の維持管理	苦情件数	136件	171件	143件	104件	121件	↓	○	
0101	市民との共創による地域活動	実施回数	14回	14回	13回	12回	3回	→	×	コロナの影響あり
010101	環境保健委員による環境保全事業と運営会議の実施									
010102	市民一斉清掃の実施									
0102	畜犬登録と狂犬病集団予防接種の実施	接種率	81.33%	80.30%	79.30%	77.90%	73.66%	↑	×	コロナの影響あり
0103	犬及び猫の避妊又は断種手術費補助	処理率(実施件数/件数)	100%(269件)	100%(265件)	100%(258件)	100%(271件)	100%(268件)	→	○	
0104	民間非活用地の環境苦情指導	指導処理率(指導処理件数/苦情件数)	100%(130件)	100%(166件)	100%(142件)	100%(101件)	100%(120件)	→	○	
0105	スズメバチ駆除委託	処理率(処理件数/通報件数)	100%(158件)	100%(116件)	100%(83件)	100%(108件)	100%(133件)	→	○	
0106	公共地における不法投棄物の撤去処理	処理率(処理件数/通報件数)	100%(6件)	100%(5件)	100%(1件)	100%(3件)	100%(1件)	→	○	
0107	不法投棄防止環境パトロールの実施	実施回数	270回	267回	300回	251回	237回	→	×	
0108	公道における糞死等動物(犬・猫等)の遺体処理	処理率(処理件数/通報件数)	100%(433件)	100%(404件)	100%(420件)	100%(390件)	100%(442件)	→	○	
0109	公衆浴場の運営補助	補助申請処理率	0%(0浴場)	100%(1浴場)	0%(0浴場)	0%(0浴場)	0%(0浴場)	→	-	
0110	墓地等の経営の許可	処理率	-	-	-	100%(1件)	-	→	-	
0111	クビアカツヤカミキリの駆除	捕殺匹数	-	-	-	6,648匹	6,249匹	↑	×	
0112	雨水貯留槽の設置支援	補助基数	6	2	3	1	4	↑	×	R3より環境政策係より移管
0113	雨水浸透枡の設置支援	補助基数	16	4	8	6	16	↑	×	R3より環境政策係より移管
事業名	環境衛生事業・環境保健委員運営事業	年度別決算・予算額(千円)	14,290	14,672	17,085	17,200	18,999	24,863		
02	野生動植物の保護と観察	保護調査対象種類数	22種	22種	22種	22種	22種	→	○	
0201	自然保護・環境団体の育成援助	自然保護・環境団体数	9団体	9団体	9団体	9団体	9団体	→	○	
0202	蛇沼湿原などの水辺自然環境の保護	保護活動回数	101回	109回	94回	80回	50回	→	×	
0203	越冬飛来白鳥の調査と保護	調査日数(一斉調査)	4日	4日	4日	4日	4日	→	○	
0204	鳥獣保護区の設定と傷害鳥等の保護	保護区数	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	→	○	
0205	市民探鳥会の開催	実施日数	6日	6日	5日	5日	2日	→	×	コロナの影響あり
0206	動物愛護事業	実施回数	1回	1回	3回	2回	2回	↑	○	
事業名	鳥獣保護対策事業・自然環境保全事業	年度別決算・予算額(千円)	1,669	1,744	2,427	1,842	1,712	3,017		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 環境問題の啓発やパトロールを継続的に実施したことにより環境衛生全般の苦情件数は微減傾向にある。また貴重な水辺環境である蛇沼湿原を定期的に清掃や除草することにより保護することができた。
 しかし、新たな問題として外来種であるクビアカツヤカミキリが平成27年7月に市内で発見され、桜、桃、梅などの樹木に多大な被害を与えており、令和元年度より当該カミキリ虫を撲滅するためのプロジェクトを開始した。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 市民や事業者など多様な連携のもと、環境美化、衛生向上、水質向上及び沼特有の動植物などの保全に努め、恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐ。
 またクビアカツヤカミキリ撲滅のため、駆除奨励金等の交付や防除用品の配布、令和2年度より実施している樹幹注入を継続し、市民・事業者の協力を得ながら事業を展開していく。

年度	R3
シートNo.	35
シート名	環境保全(水質)

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち
	施策目的 (上位目的)	01 良好な環境のなかで、快適にくらすことができるまちになる
	施策の方向	I-01 市民や事業者などが自ら進んで快適な環境づくりに取り組むことを支援するとともに、協働して環境保全活動を推進します。 I-01 生活排水を適正に処理するために、公共下水道などを地域の特性に応じてよりいっそう計画的に整備し、利用を促進するとともに、施設の長寿命化を図りながら維持管理に努めます。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規 2.0	会計 年度 任用 0.0	再任 用 0.0
	すべてのシートの合算	16.0	0.0	0.0

このシートの行政活動(手段)を遂行するための事業予算額 (R3年度予算額)				
款	項	目	事業名	予算額
4	2	2	水質浄化対策事業	23,368 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			合計	23,368 千円

任 務 目 的	指 標	過去の実績					目 標	達 成	備 考
		H28	H29	H30	R元	R2			
きれいな水環境が保たれている	汚水処理人口普及率	79.24%	80.07%	80.66%	81.37%	81.98%	↑	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備 考
01	合併処理浄化槽による生活排水処理人口の拡大	排水処理人口	23,307人	23,742人	24,064人	24,376人	24,637人	↑	○	
0101	合併処理浄化槽設置費補助	補助件数(累計補助件数)	18件(3,001件)	24件(3,025件)	12件(3,037件)	17件(3,054件)	24件(3,078件)	↑	○	
0102	合併処理浄化槽清掃費補助	補助件数	605件	597件	575件	372件	348件	→	×	
事業名	水質浄化対策事業	年度別決算・予算額(千円)	10,587	12,772	9,071	9,178	17,030	23,368		
02	城沼の水質向上を図る	鶴生田川の水質 (城沼中央BOD75%値)	12.0mg	12.0mg	9.8mg	8.3mg	8.8mg	↓	○	
0201	城沼水質浄化啓発	実施回数	4回	4回	3回	2回	2回	→	×	コロナの影響あり
020101	城沼サミットの開催(事前調査含む)	実施回数	2回	2回	2回	2回	1回	→	×	コロナの影響あり
020102	啓発月間の運営									
0202	主要河川等の定期清掃民間委託	清掃委託河川等箇所数	4ヶ所	4ヶ所	4ヶ所	4ヶ所	4ヶ所	→	○	
0203	加法師川をきれいにする運動の実施	実施回数	2回	2回	2回	2回	0回	→	×	コロナの影響あり
0204	河川等の雑物ゴミ処理	処理量	—	3,200kg	2,400kg	1,210kg	1,620kg	→	○	
0205	多々良沼からの導水	年間導水量	3,400,290m ³	6,173,640m ³	5,131,800m ³	5,744,250m ³	5,778,090m ³	↑	○	
0206	水質浄化実験(イケチョウガイ)	取組み状況	データ収集	データ収集	データ収集	データ収集	事業終了	→	○	
事業名	水質浄化対策事業	年度別決算・予算額(千円)	10,587	12,772	9,071	9,178	17,030	23,368		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
公共下水道の整備や合併処理浄化槽への転換により汚水処理人口普及率は微増傾向にある。浄化槽設置補助件数は平成30年度、令和元年度は20件を下回ったが、令和2年度より転換補助額の引上げと宅内配管補助を導入したこともあり24件まで回復。また出前講座による城沼の水質浄化啓発を行っているが実施回数は微減となっている。
城沼の水質は20年前に比べれば改善しており、後期基本計画期間中も相対的には改善傾向にある。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
里沼として日本遺産に認定された城沼をはじめ市内にある沼や河川における更なる水質浄化が必要なため、令和2年度より拡充した汲み取りや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換補助費をPRし合併浄化槽の設置件数を増加させ、水質向上を図る取組みを推進する。

年度	R3
シートNo.	36
シート名	資源対策(収集処理、減量化、施設整備)

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
		5.0	0.0	0.0
すべてのシートの合算		16.0	0.0	0.0

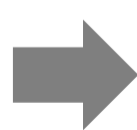
第五次総合計画	基本目的	I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち
	施策目的(上位目的)	02 ごみを減らし、資源を生かすまちになる
	施策の方向	I-02 市民や事業者と連携し、ごみの発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)の3Rを推進するために、さまざまな人々を対象とした啓発の機会を充実するとともに、3Rのしくみづくりに取り組めます。 I-02 排出されたごみを効率的に収集し、環境にやさしく適切に処理します。 I-02 館林市、板倉町、明和町の1市2町による新たな広域ごみ処理施設(事業主体:館林衛生施設組合)を建設し、運営します。

款	項	目	事業名	予算額
4	3	1	ごみ収集処理 事業	370,757 千円
4	3	1	ごみ減量化 事業	14,420 千円
合計				385,177 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
安定的なごみ収集により生活環境の保全上支障が生じない。	収集率(%)	100%	100%	100%	100%	100%	→	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	ごみの収集運搬を効率的に遂行する	収集運搬中の事故	0	0	0	0	0	→	○	
0101	収集運搬業務	執行	-	-	-	-	-	→	-	
0102	一般廃棄物処理業の許可	許可業者数	56	57	55	55	54	→	×	
0103	ごみ搬入手数料の徴収	滞納者への巡回指導数	2	2	2	1	0	→	×	コロナの影響あり
0104	ごみ搬入検査	検査回数(回/年)	0	4	1	7	0	↑	×	コロナの影響あり
	事業名	ごみ収集処理事業	年度別決算・予算額(千円)	636,388	351,436	333,195	342,244	364,663	370,757	
02	燃やせないごみ・資源物を分別処分する	設備停止(緊急停止)日数	0	0	0	0	0	→	○	
0201	資源化業務	執行	-	-	-	-	-	→	-	
0202	資源回収	資源回収率(%)	88.8	97.6	95.6	92.6	86.8	↑	×	コロナの影響あり
	事業名	ごみ収集処理事業	年度別決算・予算額(千円)	636,388	351,436	333,195	342,244	364,663	370,757	
03	焼却・粗大ごみ残さを処分する	埋立残存年数	1	0	0	0	0	→	×	
0301	最終処分場の維持管理(施設巡視)	実施回数(回/年)	48	48	48	48	48	→	○	
0302	水質規制値の測定(放流水)	規制基準の達成度(%)	100%	100%	100%	100%	100%	→	○	
0303	敷地境界4箇所の空間線量率測定	測定回数(回/年)	52	52	52	52	52	→	○	
0304	最終処分場関連施設の点検整備	実施回数(回/年)	1	1	1	1	1	→	○	
	事業名	ごみ収集処理事業	年度別決算・予算額(千円)	636,388	351,436	333,195	342,244	364,663	370,757	
04	発生抑制を推進する	市民一人当たりのごみ排出量	986	966	962	944	954	↓	○	コロナの影響あり
0401	ごみ減量化器具購入費補助	補助件数(件/年)	35	19	15	19	19	↑	×	
0402	廃棄物減量等推進審議会の実施	開催回数(回/年)	2	3	4	1	1	→	×	コロナの影響あり
0403	廃棄物減量等推進員の委嘱	委嘱人数(人/年)	753	753	730	730	725	→	×	
	事業名	ごみ減量化事業	年度別決算・予算額(千円)	14,819	15,282	15,078	13,356	8,331	14,420	
05	分別を徹底する	燃やせるごみに占める資源物の割合	47.82%	49.53%	54.76%	49.16%	74.73%	↓	×	コロナの影響あり
0501	分別の説明会	開催回数(回/年)	17	10	17	23	4	↑	×	コロナの影響あり
0502	事業者への指導	事業者への指導回数(社/年)	12	27	10	3	0	↑	×	コロナの影響あり
0503	ごみの分け方出し方の配布	配布回数(回/年)	1	1	1	1	1	→	○	
0504	ごみステーション管理の相談	相談件数(回/年)	49	51	36	23	20	↓	○	
	事業名	ごみ減量化事業	年度別決算・予算額(千円)	14,819	15,282	15,078	13,356	8,331	14,420	
06	資源の有効利用(リサイクル)を進める	資源化率	20.19%	21.66%	23.57%	20.80%	19.93%	↑	×	
0601	集団回収事業支援	回収量(t/年)	1,384	1,369	1,256	1,138	604	→	×	コロナの影響あり
0602	リユース事業の運営	リユース品の提供数(点/年)	2,697	77	53	20	0	↑	×	コロナの影響あり
0603	資源物持ち去りに伴うごみステーションへの防止策	パトロール指導回数(回/年)	4	14	2	0	1	↓	○	
0604	廃食用油回収事業	回収量(L)	8,741	9,569	5,918	7,784	8,503	↑	×	
	事業名	ごみ減量化事業	年度別決算・予算額(千円)	14,819	15,282	15,078	13,356	8,331	14,420	
07	広報活動の推進									
0701	市広報紙等への掲載及びチラシ等配布	実施回数(回/年)	15	11	11	18	18	→	○	
0702	ホームページの充実	更新等回数(回/年)	12	26	22	31	42	→	○	
0703	出前講座等の実施	受講者数(人/年)	944	542	1,189	1,162	155	↑	×	コロナの影響あり
0704	イベント等の実施	開催回数(回/年)	3	3	3	2	0	→	×	コロナの影響あり
	事業名	ごみ減量化事業	年度別決算・予算額(千円)	14,819	15,282	15,078	13,356	8,331	14,420	
08	旧ごみ処理施設用地の利活用を図る									
0801	旧焼却施設解体	執行	-	-	-	完了	-	-	-	
0802	ストックヤード整備	執行	-	-	-	-	完了	-	-	
	事業名	一般廃棄物処理施設整備事業	年度別決算・予算額(千円)	-	8,078	178,395	329,311	37,846	-	

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 食品ロス、プラスチックごみ、災害ごみなど、新たなごみ問題への対応が求められる中、ごみの排出量削減と資源化率向上を目的として取り組み、一定の成果を上げてきたが、令和2年度はコロナの影響により、ごみ排出量が増加し、また、イベントや出前講座など、対面での啓発活動を自粛せざるを得ない状況にあった。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 新たなごみ問題に対応するため、啓発のあり方や事業の見直しを行い、市民・事業者・行政が一体となって、リサイクルよりも優先すべきリデュース(発生抑制)、リユース(再利用)を推進していく。